

平成29年度南富良野大乘会事業実績報告書

1. 総括

平成29年度は、一昨年の水害による被害を受けた法人事業所のからまつ園、こざくら園、GHぴあ、なんぷ～香房、一味園については、引き続き復旧工事を実施し、国庫補助金等の補助金を受けて各所の復旧工事を完了することができました。

また、平成29年度は、改正社会福祉法による、法人の「経営組織のガバナンス強化」、「事業運営の透明性の確保」、「財務規律の強化」、「公益的な取組の責務」、「行政関与の在り方」の施行が進められて、地域の福祉ニーズの多様化で、一層に社会福祉法人は、公益性を重視とした社会貢献が使命とした運営に大きく経営に求められました。

このことを踏まえて、南富良野大乘会は、法人の基本理念である地域福祉の担い手となることを推進するために南富良野町及び関係機関と連携・協力をして適切な経営に努めました。

また、日本全体が少子高齢社会・人口減少を起因としたことで地域的な課題が複雑化し多くの問題が山積しており、特に地域の担い手不足、福祉従事者の慢性的な不足は、非常に深刻な現況であります。当法人の「ふくしあ」は、富良野管内の人口減と高齢者事業所の増員等の社会環境の影響で利用定員を割った40名での運営となっており今後の高齢者事業の見直しと検討が喫緊の課題であり法人運営においての財政的な問題点となった運営状況となりました。

なお、特別養護老人ホーム「一味園」においても創設40年を迎えることでは、施設建物の劣化でご利用者生活環境の低下が見受けられることから今後の運営見直しが問題化しました。

つきましては、平成29年度は、次の事項を重点的に取り組みました。

- (1) 社会福祉法人制度改革の施行に伴う、新評議員の任期4年及び新理事及び新監事は、6月定時評議員会後の任期2年間として、新たな法人組織の再編を完了しました。
- (2) 法人事業は、事業計画に基づき各種事業運営を進めるとともに、評議員、役職員が一体となった事業経営を推進しました。
- (3) 介護・福祉人材の確保は、多様な人材を求めるために、専門求人会社の活用と各種学校等の訪問を行い人材の確保を図りました。また、法人事業所では、職員の定着化の向上に努めるとともに、南富良野町及び南富良野社協との情報交換を進めましたが、法人の必要人員の確保には至りませんでした。
- (4) 平成28年8月31日発生の水害復旧については、国庫補助金等の交付を受けてからまつ園、こざくら園、なんぷ～香房、GHぴあ、一味園の災害復旧工事を完了し、生活環境の向上を図りました。また、民間補助団体の助成金交付を受けて、各事業所の車両整備を完了しました。
- (5) 少子・高齢化の社会環境の変化により、富良野管内の待機者も減少の中で、特養「ふくしあ」、「一味園」は、事業運営の適正化を図るために今後の事業経営の在り方についての協議・検討を始めました。
- (6) 法人の事業所では、全職員が虐待に対する意識の向上を図るために各種の研修会の開催と外部研修会に参加をして権利擁護の向上に努めました。
- (7) 各事業者は、予算の効率的な運用と抑制に努めるとともに厳しい人材確保の状況を踏まえて職員配置基準を順守し、待機者の営業活動を行い入居率の向上に努めました。
- (8) 障がいや高齢者もその人らしく安心して生活ができるように質の向上に努めるとともに、ご利用者個々の人格を尊重した専門的なケアと相談支援を行い適正なサービスの提供に努めました。
- (9) 障害福祉サービス事業所なんぷ～香房の開設10周年の節目を迎えたことから記念事業を法人事業所、家族会の協力の下で記念事業を実施しました。

2. 管理運営について

(1) 役員 (任期：平成 29 年 6 月 13 日から平成 31 年度定時評議員会まで)

① 理事 (6 名)

区分	理事長	理 事
氏名	鷹嘴 充子	岩永廣一郎、秋元 忠、山上 隆裕、大宮 光明、東 雅春

② 監事 (2 名)

区分	監 事
氏名	河原 澄和、山西 春美

③ 評議員 (7 名) (任期：平成 29 年 4 月 1 日から平成 33 年度定時評議員会まで)

区分	評 議 員
氏名	大居 政則、太田 聡志、後藤 治子、須藤 進、曾慶 乙公、中野 博司、森 敏範

④ 評議員選任・解任委員 (3 名)

(任期：平成 29 年 3 月 7 日から平成 33 年度定時評議員会まで)

区分	評 議 員
氏名	山名 賢一、河原 澄和、中島 正貴

(2) 理事会等を次のとおり開催しました。

日時	出席者	議 案
第 1 回理事会 平成 29 年 5 月 26 日 12:15~14:30	理事 6 名 監事 2 名	議案第 1 号 平成 28 年度監査報告について 議案第 2 号 平成 28 年度南富良野大乗会事業実績報告について 議案第 3 号 平成 28 年度南富良野大乗会会計決算について 議案第 4 号 平成 28 年度南富良野からまつ園事業実績報告について 議案第 5 号 平成 28 年度南富良野からまつ園会計決算について 議案第 6 号 平成 28 年度南富良野こざくら園事業実績報告について 議案第 7 号 平成 28 年度南富良野こざくら園会計決算について 議案第 8 号 平成 28 年度グループホーム・ケアホームびあ事業実績報告について 議案第 9 号 平成 28 年度グループホーム・ケアホームびあ会計決算について 議案第 10 号 平成 28 年度なんぶ〜香房事業実績報告について 議案第 11 号 平成 28 年度なんぶ〜香房会計決算について 議案第 12 号 平成 28 年度ふくしあ事業実績報告について 議案第 13 号 平成 28 年度ふくしあ会計決算について 議案第 14 号 平成 28 年度一味園事業実績報告について 議案第 15 号 平成 28 年度一味園会計決算について 議案第 16 号 平成 29 年度南富良野からまつ園会計予算の補正について 議案第 17 号 平成 29 年度南富良野こざくら園会計予算の補正について 議案第 18 号 平成 29 年度なんぶ〜香房会計予算の補正について 議案第 19 号 平成 29 年度一味園会計予算の補正について 議案第 20 号 (社福) 南富良野大乗会経理規程の一部改正について 議案第 21 号 水害に伴う復旧工事の入札結果について 議案第 22 号 社会福祉法人南富良野大乗会役員改選 (案) について 議案第 23 号 その他(協議・報告事項)について
第 2 回理事会 平成 29 年 6 月 13 日 13:30~13:50	理事 6 名 監事 1 名	報告第 1 号 社会福祉法人南富良野大乗会役員の選任について 議案第 1 号 社会福祉法人南富良野大乗会理事長の選任について 議案第 2 号 社会福祉法人南富良野大乗会業務執行理事の選任について 議案第 3 号 法人役員の業務役割について 議案第 4 号 その他(報告事項)について

第3回理事会 平成29年 9月15日 13:30~15:20	理事 5名 監事 2名	議案第1号 (社福) 南富良野大乗会諸規程の制定等について 議案第2号 平成29年度南富良野大乗会各事業所の会計予算補正について 議案第3号 理事長、業務執行理事の職務執行状況報告について 議案第4号 その他(協議・報告事項等)について
第4回理事会 平成30年 1月31日 13:30~14:50	理事 6名 監事 2名	議案第1号 平成29年度南富良野大乗会各事業所会計予算の補正について 議案第2号 (社福) 南富良野大乗会経理規程の一部改正について 議案第3号 法人職員の採用関係について 議案第4号 各事業所の主要事業報告等について 議案第5号 その他(協議・報告事項)について
第5回理事会 平成30年 3月 8日 13:30~15:30	理事 6名 監事 2名	議案第1号 平成29年度北海道指導監査の結果について 議案第2号 職員処遇改善費について 議案第3号 平成29年度南富良野大乗会各事業所の会計予算補正について 議案第4号 (社福) 南富良野大乗会諸規程の制定等について 議案第5号 その他(報告事項等)について 協議事項第1号 (社福) 南富良野大乗会中期整備事業計画(案)について
第6回理事会 平成30年 3月26日 13:30~0:00	理事 6名 監事 2名	議案第1号 平成30年度(社福) 南富良野大乗会・各事業所の事業計画(案)の策定及び本部・各事業所の会計予算(案)の編成について 議案第2号 理事長・業務執行理事の職務執行状況報告について 議案第3号 その他(報告事項)について

(3) 評議員会を次のとおり開催しました。

日時	出席者	議 案
第1回評議員会 平成29年6月13日 9:30~0:00	評議員 7名	議案第1号 平成28年度監査報告について 議案第2号 平成28年度南富良野大乗会事業実績報告について 議案第3号 平成28年度南富良野大乗会会計決算について 議案第4号 平成28年度南富良野からまつ園事業実績報告について 議案第5号 平成28年度南富良野からまつ園会計決算について 議案第6号 平成28年度南富良野こざくら園事業実績報告について 議案第7号 平成28年度南富良野こざくら園会計決算について 議案第8号 平成28年度グループホームひばり事業実績報告について 議案第9号 平成28年度グループホームひばり会計決算について 議案第10号 平成28年度なんぶ〜香房事業実績報告について 議案第11号 平成28年度なんぶ〜香房会計決算について 議案第12号 平成28年度ふくしあ事業実績報告について 議案第13号 平成28年度ふくしあ会計決算について 議案第14号 平成28年度一味園事業実績報告について 議案第15号 平成28年度一味園会計決算について 議案第16号 社会福祉法人南富良野大乗会役員の選任について 議案第17号 (社福) 南富良野大乗会経理規程の一部改正について 議案第18号 水害に伴う復旧工事の入札結果について 議案第19号 その他(報告事項)について
第2回評議員会 平成29年9月25日 13:30~0:00	評議員 6名	議案第1号 (社福) 南富良野大乗会諸規程の制定等について 議案第2号 その他(報告事項)について
第3回評議員会 平成29年 3月26日 13:30~0:00	評議員 6名	議案第1号 平成30年度(社福) 南富良野大乗会・各事業所の事業計画(案)の策定及び本部・各事業所の会計予算(案)の編成について 議案第2号 その他(報告事項)について

(4) 会計監査等を次のとおり実施しました。

日 時	出席	内容（法人、各施設の会計処理等について）
平成 29 年 5 月 17、18 日	2 名	平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月まで
平成 29 年 8 月 9、10 日	2 名	平成 29 年 4 月から平成 29 年 6 月まで
平成 29 年 12 月 19、20 日	2 名	平成 29 年 7 月から平成 29 年 10 月まで
平成 30 年 3 月 6、7 日	2 名	平成 29 年 11 月から平成 30 年 1 月まで

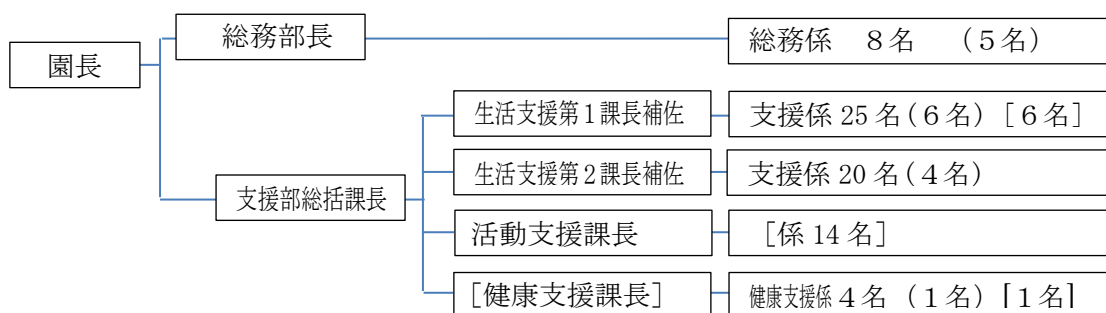
(5) 職員体制

法人の各種組織機能を円滑に推進するように各事業所間の連携を深めるとともに、職員組織体制の運用を的確に進めました。

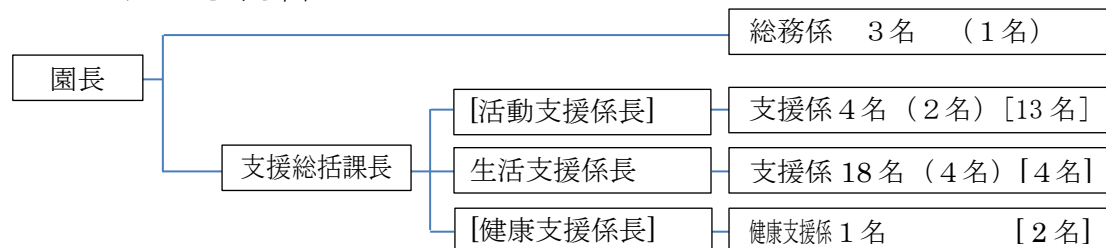
また、職員の補充配置を進めるために、各種リクルートサイトの活用と広告を行い、多様な求人活動をできる限り実施しました。しかし、各事業所の必要人員においては、採用者の確保が大変に厳しく特に、ふくしあは適正な職員配置ができませんでした。

① 組織（平成 30 年 3 月 31 日現在）

ア. からまつ園



イ. こざくら園



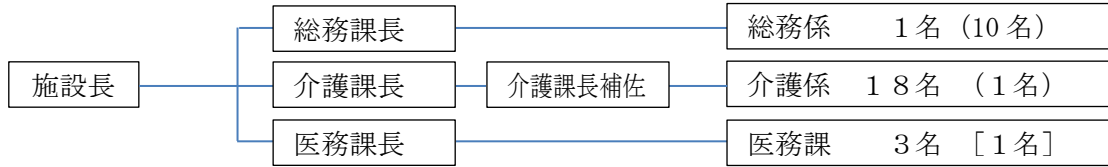
ウ. グループホームびあ



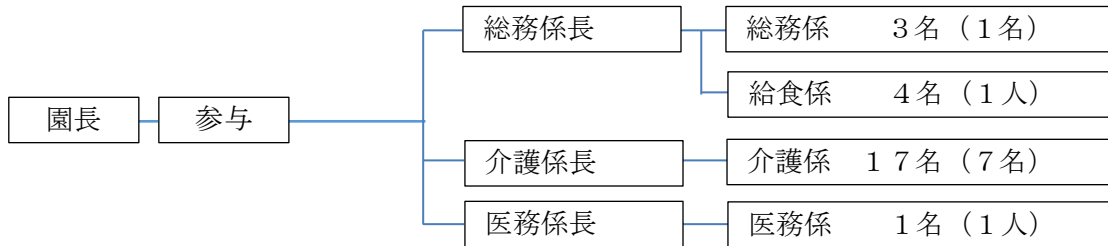
エ. なんぷ〜香房



オ. ふくしあ



カ. 一味園



※()内は臨時・パート、[]内は兼務

②職員の退職、採用（正規職員・準職員等）

区 分	退職・異動			採用・異動			
	年度中	年度末	計	年度中	平成30年4月1日		計
					採用者	異動者	
(1)からまつ園	2(1)	3	5(1)	2	4	0	6
(2)こざくら園	0	2	2	0	1	0	1
(3)なんぷ〜香房	1	0	1	0	1(1)	0	1(1)
(4)グループホームぴあ	(2)	0	(2)	(1)	(1)	0	(2)
(5)ふくしあ	1	2	3	1	0	0	1
(6)一味園	2	2	4	1	3	1	5
合 計	6(3)	9	15(3)	4(1)	9(2)	1	14(3)

(6) 財務・会計管理

- ① 社福会計基準の一部改正に基づき適切に会計処理を行うとともに、会計事務所の指導と助言を受けて拠点区分間別の会計処理を適切に行いました。また、新に社会福祉充実残額の算定を適正に行いました。なお、29年度においては、社会福祉充実残額は、生じませんでした。
- ② 各事業所においては、適正にサービス費の請求事務を行い収入を確保するとともに経費の節約にも積極的に努め効率的な予算執行を進めました。
- ③ 社会福祉法人制度改革により社会福祉施設職員等退職手当制度の変更に伴い法人職員の退職手当の見直しを図りました。

3. 役員研修の実施

次の研修を実施しました。

開催日	内 容
平成 29 年 7 月 12～13 日	研修先：ゆいまーるもみじ台（札幌市） 内 容：先進施設の視察
平成 29 年 12 月 5～6 日	主 催：北海道社会福祉協議会 内 容：法人役員研修会（札幌市）

4. 法人職員の確保と育成

- (1) 職員確保では、南富良野町と南富良野町社会福祉協議会との協力・連携において、南富良野町と東川町・旭川福祉専門学校の留学生についての南富良野大乘会への就職先として求人活動を実施しました。
- (2) 福祉系以外の学生を含めた多様な人材を画するために各学校を訪問し、情報交換を密に行うとともに、各種求人サイトの活用と潜在者の活用を図る採用活動を進めました。
平成 30 年度の新規学生採用者 6 名（障害：4 名、介護：2 名）は、正規職員として採用しました。また、経験者採用は 3 名（障害：1、介護：2 名）も正規職員として配置をしました。
- (3) 法人職員の定着化向上のため、人材確保・定着対策規程を活用し労働条件・給与面の充実化を図りました。また、処遇改善加算給付費を活用し一時金を支給しました。
- (4) 正規職員の採用を図り柔軟で多様な職員の採用を実施し、人材確保を図りました。
- (5) 法人事業所の活性化を図るため適材適所の人事異動を実施しました。
- (6) 人事考課制度では、職員の職能に応じたキャリアアップの構築を図る研修会を開催するとともに、職員個々の能力向上に努めました。
- (7) 定期的に職場内研修（OJT）と外部研修等を取り入れ、福祉従事者として専門的な知識や技術の向上と資質の向上を図りました。

5. 法人の地域貢献事業について

改正社会福祉法に沿って社会福祉事業を担う法人として、地域に有効的に還元ができる各種事業においては各事業所と職員等は、できうる限り地域活動に取り組みました。

6. 虐待防止対策について

- (1) 各事業所の虐待防止対策委員会を中心にご利用者支援と介護業務の検証を行い虐待防止に努めました。
また、不適切な支援・ケア事例については、それぞれ検証の上、適切に対応・対策を講じました。
- (2) 法人の全職員は、虐待防止法や法人虐待対応規程に基づいて権利擁護意識の活動に努め、個々のケースカンファレンスを行い適切な福祉サービスを提供しました。
- (3) 各事業所では、権利擁護に関する研修会へ計画的に参加するとともに、復命研修についても適宜実施をしました。

7. 安全・衛生管理

- (1) 各事業所は、事故を未然に防止するためにリスク管理意識の向上に努め、ご利用者の事故発生時には、即時対応を図り、事故の検証を行い改善対応処置に努めました。
- (2) 施設内外の衛生管理には、日頃から部外者の協力を得ながら感染症対策と予防等に努めましたが、からまつ園においてノロウイルスの集団感染が発生し、富良野保健所の実地指導を受けて、感染拡大の措置を進め短期間での終息を図りました。
- (3) 法人全体で交通規則の遵守を強く推進し、職員の交通安全意識の高揚を図りましたが、冬季において単独事故が1件発生したことから今後も交通安全の推進に努めます。

8. 災害対策の見直しについて

一昨年に発生した幾寅地区の水害を受けて、適切にご利用者の避難と誘導が必要であることから災害を想定とした防災訓練及び避難訓練を実施するとともに、法人防災対策規程の内容については、更に検討することが課題となりました。また、緊急時に備えた防災用品等の整備を進めました。

9. 研究発表会の開催

法人研究発表会は、職員の福祉サービスの向上を図る観点から実践発表会を開催しました。また、他法人3事業所の参加得て専門性と資質の向上を図りました。

10. 情報公開・開示について

- (1) 地域住民に対して法人広報誌「大乘会通信」を3回発行し、法人の情報を発信しました。

発行	発行日
第42号	平成29年 5月 1日
第43号	平成29年 8月 1日
第44号	平成30年 1月 1日

- (2) 法人ホームページでは、経営状況と人材確保等につながる情報を適宜発信しました。また、フェイスブックを立ち上げ新たに各事業所等の最新情報を発信しました。
- (3) 各事業所においては、それぞれが行事等を通したご利用者の活動内容について情報を適宜発信をしました。

11. 苦情の対応について

苦情受付については、南富良野大乘会苦情解決規程に基づいて、適切に対応を図りました。なお、苦情等の申し出は、特にありませんでした。

12. 個人情報保護について

南富良野大乘会の個人情報保護に関する基本方針と規程に基づき適正な情報管理に努めました。